

2023年3月28日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会

「第8回 JEITA ベンチャー賞」受賞5社が決定 ベンチャー企業の共創・連携をさらに促進へ

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 時田隆仁 富士通株式会社 代表取締役社長）は、本日、「JEITA ベンチャー賞」の受賞企業5社が決定したことを発表しました。JEITA ベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展のみならず、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を表彰するもので、過去には株式会社 Preferred Networks や株式会社 MUJIN、株式会社 ABEJA をはじめ、株式会社 FLOSFIA や株式会社ノバルクリスタルテクノロジーなど気鋭のベンチャー企業、計45社が受賞しており、本年が8回目の取り組みとなります。「JEITA ベンチャー賞審査委員会」（審査委員長 荒川泰彦 東京大学 名誉教授/特任教授）が成長性（先導性）、波及性、社会性の3つの視点からベンチャー企業を審査・選考した結果、第8回 JEITA ベンチャー賞は株式会社アーバンエックステクノロジーズ、株式会社アルガルバイオ、アルム株式会社、株式会社イムノセンス、エレファンテック株式会社の5社が受賞しました。また、特別賞である「Early edge 賞」（市場における貢献度は未知数だが、非常に高い技術を保有し、将来、大きな成長が期待できる企業を特別賞として表彰するもの）は株式会社 Acompany が受賞しました。

JEITA は現在、Society 5.0 の推進を事業指針として、業種・業界の枠を超えた共創による新たな市場創出に取り組んでいます。JEITA ベンチャー賞はその取り組みの一環であり、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業を支援するとともに、JEITA 会員企業との共創・連携・エコシステムの構築支援を目的としたものです。受賞企業が JEITA への入会を希望する場合は、「ベンチャー優遇特例制度」（JEITA ベンチャー賞を受賞した企業等が正会員として新規に入会する場合、申請により協会会費の負担を2年間免除する仕組み）を活用することができます。今回受賞した計5社のベンチャー企業は今後、JEITA の活動に参画いただくほか、デジタルイノベーションの総合展「CEATEC」への出展や JEITA が主催するシンポジウムなどへの登壇、さらには JEITA 会員企業との交流支援などの特典が授与されます。

JEITA はベンチャー企業との共創・連携を促進し、Society 5.0 に向けたテクノロジーの社会実装を推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【受賞企業の審査評価】（社名五十音順）

JEITA ベンチャー賞

株式会社アーバンエックステクノロジーズ

代表者：前田 紘弥（代表取締役）

本社所在地：東京都渋谷区渋谷 1-12-2 クロスオフィス渋谷 706

【審査評価】

株式会社アーバンエックステクノロジーズは、「都市インフラをアップデートし、すべての人の生活を豊かに」をミッションに掲げ、「しなやかな都市インフラ管理を支えるデジタル基盤をつくる」ことを目指している。その第一歩としてスマートフォンや車載カメラなどのデバイスで撮影した動画や画像データを用いた AI による道路損傷検知サービスを提供している。従来の専用測定車が通れないような生活道路においても、低コストで損傷具合に応じた路線評価を行うことが可能であり、インフラの老朽化による維持管理コスト増大や担当者不足への対応など、今後深刻になる問題への対応が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社アルガルバイオ

代表者：木村 周（代表取締役社長 CEO）

本社所在地：千葉県柏市柏の葉 5-4-6 東葛テクノプラザ 301

【審査評価】

株式会社アルガルバイオは、世界的にも稀有であるマーケットイン型の「バイオファウンダリー型藻類開発プラットフォーム」を構築している点に独自性がある。保有する藻類ライブラリーと蓄積されたデータを活用し、最適な藻類の種株や培養製法などを、健康食品・化粧品等のレッドバイオ領域、食糧・飼料添加物等のグリーンバイオ領域、バイオエネルギー・バイオプラスチック等のホワイトバイオ領域といった様々な領域において企業に技術提供する B2B 型のビジネスモデルを構築しており、藻類ビジネスを展開している多くの競合企業に対する優位性が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

アルム株式会社

代表者：平山 京幸（代表取締役）

本社所在地：石川県金沢市戸水 1-61

【審査評価】

アルム株式会社は、製造業における部品加工業者を対象に、CAD データから NC 工作機械のプログラミングを完全自動化する AI ソフトウェア「ARUMCODE1」を開発した。熟練者を必要とせず、加工部品に最適な工具の選定、加工条件設定、材料・工具のセット指示などを自動生成する。部品加工において 50%を占めるといわれるプログラミング作業が不要となる。製造業における中小企業において、生産性の大幅な向上に寄与する。特に、多品種少量生産に効果がある。クラウドサービス化することによって、欧州・アジアなどグローバル展開の加速も期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社イムノセンス

代表者：杉原 宏和（代表取締役）

本社所在地：大阪府大阪市中央区備後町 4-1-3

【審査評価】

株式会社イムノセンスは、各疾病に特有のマーカーを免疫反応と電気化学反応で精密に定量化できる独自の小型免疫測定デバイスを開発した。小型で持ち運びが可能であり、少ない検体量に対して 10 分で簡便な検査を実現できるため、迅速診断ニーズが強い心疾患や塞栓症などの循環器系疾患などに対して、緊急性の高い検査を実施できる。コロナ禍において簡便で迅速な感染症検査の必要性が高まり、今後は早期診断や早期治療が有効とされる様々な医療現場において POCT（point of care testing）の活用による医療の効率化や質の向上が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

エレファンテック株式会社

代表者：清水 信哉（代表取締役社長兼 CTO）

本社所在地：東京都中央区八丁堀 4-3-8

【審査評価】

エレファンテック株式会社は、環境負荷の少ない金属インクジェット印刷による独自の方法で、低コストでリードタイムの削減が可能な電子回路基板 P-Flex®の製造販売を行っている。既に国内に国際認証規格 ISO9001（品質マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）に準拠した量産体制を実現し、顧客向量製品の提供も始まっている。また、持続可能な社会の実現に向けて積極的に環境負荷低減の情報開示も進めており、欧米メーカーからも多数の引合いを得ている他、今後印刷装置販売も計画される等、更なる事業拡大が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

Early edge 賞

株式会社 Acompany

代表者：高橋 亮祐（代表取締役 CEO）

本社所在地：愛知県名古屋市西区那古野 2-14-1 なごのキャンパス

【審査評価】

株式会社 Acompany は、秘密計算による「プライバシー保護とデータ活用」の両立を実現するプラットフォーム「AutoPrivacy」をコア事業として、複数のプライバシーテック（秘密計算、匿名化、連合学習、合成データ、差分プライバシーなど）を組み合わせたデータ処理プロセスを構築可能とする技術を提供している。企業サービスの個別化と消費者のプライバシー保護とを両立するソリューションとしてのプライバシーテックに関して、実証実験・共同研究の実績を有する数少ない企業として、拡大する市場とともに成長することが期待される。よって、Early edge 賞（特別賞）に相応しい企業と判断した。

以上